



2023年4月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2022年9月7日

上場会社名 株式会社マツモト

上場取引所 東

コード番号 7901 URL <https://www.matsumoto-inc.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松本 大輝

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼総務部長 (氏名) 徳永 和敏

TEL 093-371-0298

四半期報告書提出予定日 2022年9月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年4月期第1四半期の業績(2022年5月1日～2022年7月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年4月期第1四半期	495	11.9	57		51		53	
2022年4月期第1四半期	562	33.8	122		116		118	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年4月期第1四半期	141.55	
2022年4月期第1四半期	313.71	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年4月期第1四半期	2,283	1,383	60.6
2022年4月期	2,649	1,439	54.3

(参考)自己資本 2023年4月期第1四半期 1,383百万円 2022年4月期 1,439百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年4月期		0.00		0.00	0.00
2023年4月期					
2023年4月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年4月期の業績予想(2022年5月1日～2023年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	600	20.4	500		490		500		1,324.84
通期	2,320	1.3	60		80		40		105.99

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年4月期1Q	381,300 株	2022年4月期	381,300 株
期末自己株式数	2023年4月期1Q	3,895 株	2022年4月期	3,835 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年4月期1Q	377,417 株	2022年4月期1Q	377,465 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報による判断に基づくものであり、今後の経済情勢、事業運営におけるさまざまな状況変化によって、実際の業績は見通しと異なる場合があります。なお、予想の前提条件その他関連する事項については、添付資料の2ページを参照して下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6
3. 補足情報	6
(1) 部門別売上高並びに受注高及び受注残高	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期(2022年5月1日～7月31日)の経済情勢は、2022年4～6月期の国内総生産(GDP)速報値が年率2.2%増と3四半期連続のプラス成長となりましたが、米国やユーロ圏と比べると新型コロナウイルスの危機からの回復に遅れがみられました。また、印刷業界におきましては、ペーパーレス化の進展に加え、コロナ禍での企業の景況感や消費者心理が足踏み状態となり、印刷需要低迷の状況が続いておりました。

このような経営環境の下、当社の第1四半期における経営成績は次のとおりとなりました。学校アルバム部門の売上高は、主に卒業後納品のアルバムとなりますが、前年同四半期比12.1%減の394百万円となり、一般商業印刷部門の売上高は、前年同四半期比11.5%減の101百万円となりまして、全売上高は、前年同四半期比11.9%減の495百万円となりました。

また、損益面につきましては、主として人員減少による労務費の削減、前期に固定資産の減損損失を計上したことによる減価償却費の減少等により製造原価が減少し、営業損失57百万円(前年同四半期比65百万円損失減)、経常損失51百万円(前年同四半期比64百万円損失減)、四半期純損失53百万円(前年同四半期比64百万円損失減)と、売上減少ではありましたが損益は大きく改善いたしました。

(新型コロナウイルスの感染流行が経営成績に及ぼす影響について)

1. 学校アルバム部門

2023年4月期・通期につきましては、現在の第7波の感染が長引くか新たな変異株の出現による感染が広がった場合は、編集の遅れなどのため卒業アルバムの納品がずれ込む可能性があり、通期の業績予想に影響が出てまいります。

2. 一般商業印刷部門

上記の第7波の動向や新たな変異株の出現・流行次第では、経済活動が停滞して印刷需要の回復が難しくなり、一般商業印刷部門の業績に影響が出てまいります。

(季節変動について)

当社の年間売上高のおよそ78%を占める学校アルバム部門は卒業時期の2月、3月に売上が集中いたしますので、この第1四半期の売上高は年間売上高の4分の1前後にはなりませんし、損益につきましても固定費等発生が先行いたしますので、第1四半期においては、現在のところ損失となることが避けられず、上記のような損益状況となります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期における財政状態につきましては、総資産が2,283百万円と前事業年度末に比べ366百万円減少となっておりますが、これは主として材料等の仕入代金の支払等に現預金を充当したこと等によるものであります。

また、純資産は1,383百万円と前事業年度末に比べ55百万円減少しておりますが、これは主に当第1四半期純損失53百万円等によるものであります。

このような第1四半期における財政状態は、上記の年間売上高の季節変動に基づくものであり例年に比べて大きな変化はありません。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期累計期間および通期の業績見通しにつきましては、概ね予想通り推移しており、現時点におきましては2022年6月8日発表「2022年4月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」の業績予想から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年4月30日)	当第1四半期会計期間 (2022年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	948,101	579,893
受取手形及び売掛金	223,680	242,390
商品及び製品	4,327	5,446
仕掛品	63,323	16,139
原材料及び貯蔵品	56,743	63,681
その他	8,884	9,754
貸倒引当金	△2,900	△3,100
流動資産合計	1,302,160	914,205
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	324,995	327,408
土地	758,976	758,976
その他(純額)	8,704	31,686
有形固定資産合計	1,092,676	1,118,070
投資その他の資産		
その他	256,927	254,000
貸倒引当金	△2,000	△2,600
投資その他の資産合計	254,927	251,400
固定資産合計	1,347,603	1,369,471
資産合計	2,649,763	2,283,676
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	254,582	145,051
未払法人税等	6,095	1,543
1年内返済予定の長期借入金	-	14,280
賞与引当金	58,000	28,000
その他	390,850	265,853
流動負債合計	709,528	454,728
固定負債		
長期借入金	100,000	85,720
長期預り敷金	30,170	30,170
長期預り保証金	82,000	80,500
退職給付引当金	108,680	108,739
役員退職慰労引当金	155,908	115,630
資産除去債務	24,419	24,419
固定負債合計	501,178	445,178
負債合計	1,210,706	899,906

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年4月30日)	当第1四半期会計期間 (2022年7月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	2,521,310	2,521,310
利益剰余金	△1,166,465	△1,219,887
自己株式	△17,217	△17,356
株主資本合計	1,437,627	1,384,066
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,429	△296
評価・換算差額等合計	1,429	△296
純資産合計	1,439,057	1,383,769
負債純資産合計	2,649,763	2,283,676

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2021年5月1日 至 2021年7月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2022年5月1日 至 2022年7月31日)
売上高	562,927	495,676
売上原価	567,111	444,366
売上総利益又は売上総損失(△)	△4,184	51,310
販売費及び一般管理費	118,603	108,746
営業損失(△)	△122,788	△57,436
営業外収益		
受取配当金	1,488	1,538
不動産賃貸収入	7,755	7,755
その他	859	417
営業外収益合計	10,103	9,710
営業外費用		
支払利息	-	40
不動産賃貸原価	3,978	3,632
雑損失	-	267
営業外費用合計	3,978	3,939
経常損失(△)	△116,663	△51,665
税引前四半期純損失(△)	△116,663	△51,665
法人税、住民税及び事業税	1,750	1,756
法人税等調整額	-	-
法人税等合計	1,750	1,756
四半期純損失(△)	△118,414	△53,422

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りにつきましては、直近の感染状況やワクチン接種の普及、マスク着用要否の時期等を踏まえて、2023年4月期の半ばまでには通常の経済活動を取り戻すとの前提において、固定資産に関する減損損失の認識要否の判断及び測定、繰延税金資産の回収可能性の判断等の会計上の見積りを行っており、前事業年度の有価証券報告書に記載の追加情報から変更ありません。

3. 補足情報

(1) 部門別売上高並びに受注高及び受注残高

①部門別売上高

区分	期別 前第1四半累計期間 (自 2021年5月1日 至 2021年7月31日)		当第1四半期累計期間 (自 2022年5月1日 至 2022年7月31日)		増減金額	増減率	前事業年度 (自 2021年5月1日 至 2022年4月30日)	
	金額	構成比率	金額	構成比率			金額	構成比率
学校アルバム	千円 448,769	% 79.7	千円 394,643	% 79.6	千円 △54,125	% △12.1	千円 1,849,483	% 78.7
一般商業印刷	114,157	20.3	101,032	20.4	△13,125	△11.5	500,471	21.3
合計	562,927	100.0	495,676	100.0	△67,250	△11.9	2,349,954	100.0

②部門別受注高及び受注残高

区分	期別 前第1四半期累計期間 (自 2021年5月1日 至 2021年7月31日)		当第1四半期累計期間 (自 2022年5月1日 至 2022年7月31日)		前事業年度 (自 2021年5月1日 至 2022年4月30日)	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
学校アルバム	千円 241,320	千円 96,487	千円 196,659	千円 66,615	千円 1,810,146	千円 264,599
一般商業印刷	114,437	15,330	102,782	11,760	495,431	10,010
合計	355,758	111,817	299,442	78,375	2,305,578	274,609